

＜昨年度ごみ減量事業に参加した新会員の方々の取り組みの感想です＞

新会員の皆さんにメール等でお願いし、5名の方から熱い感想が寄せられましたので紹介します。

★一番実感したことは、生ごみの量がほぼなくなったこと。「ごみ問題に貢献できている！」と実感が持てたことです。実際にやってみると、分解に向く物、向かない物が分かってきました。肉の骨など分解できないものは生ごみで出しますが、それ以外はキエーロがほとんど分解してくれるので、楽しんでいきます。臭いもごみも減り良かったと思います。(千石/キエーロ・田坂)

★キッチンに置けるサイズでマンションでも簡単に取り組む事が出来ます。匂いも蓋をしていると全く気にならないです。ただ堆肥として利用する十分な場所が確保できずペースを落としています。情報収集しながら取り組みたいと思っています。(枝川/EM・野村)

★仕事を辞めた昨年春から1日の大半をスコップ、鍬ふるって土と遊んでいます。生ごみをEM堆肥に進化させ、南砂小の畑、花壇の花、野菜のご馳走にして育てています。草が好き、花が好き、虫もカエルも、そして何より土が大好きです。

人手が足りないとき声かけて戴けば自転車で駆けつけます。(南砂/EM・島崎)

★ごみ収集日に「生ごみを出すのを忘れた！」と後悔することがなくなり嬉しいです。

当初は虫の発生が怖くて肉や魚の生ごみは入れずにいましたが、相談会でアドバイスを頂いてからは入れています。堆肥を育てているような感覚が楽しいです。次はプランター用の堆肥を用意してみようと思っています。(扇橋/森のしくみ・吉岡)

★最初はうまくいかず大変でした。相談会などで教えてもらい、やっと上手くいくようになりました。上手くいかなかった理由は、8人家族で生ごみの量が多いこと、水気を取らなかったり、腐葉土の量が少なかったこと。試行錯誤していろいろ工夫をしてみました。周りの人には迷惑をかけたけど楽しくて、これからも続けたいと思っています。(北砂/森のしくみ・平井)



※敬称略

＜生ごみ減量推進事業にご協力を＞

今年度も区の「生ごみ減量推進事業」は、これまでと同じ150名規模で行なわれることになりました。募集スケジュールは例年通り区報5/11号に掲載されますので、お知り合いで興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお声掛けください。また、やり方などの動画づくりを区と協力して行う予定です。以前よりも分かりやすくなると思います。乞うご期待！です。



城東区民農園＜お宝ガーデン・お宝農園＞

今年度も隔週水曜日の午前9時30分から草花の手入れなどを行います。活動開始日は4月6日。草花の栽培に関心のある方はご参加ください。生ごみ堆肥を活用する場所がない方は、伊藤または小林までご連絡の上、堆肥をご持参ください。お宝農園は会員の協力を得て、活動を再開できるようになりました。野菜作りもぜひ一緒にやってみませんか。



＜環境フェアに出展します＞

今年は6/5(日)にえこっくる江東で開催の予定です。感染対策のために野外のみの出展、スタッフ数も来場者も制限しての開催となります。生ごみお宝倶楽部の出展タイトルは「家庭でできるSDGs 生ごみ減量」です。ぜひ遊びに来てくださ〜い。



＜コープ南砂 2021年度生ごみ堆肥集計結果の紹介＞

コープ南砂では13軒の会員が各家庭で作った生ごみ堆肥を隔週土曜日に持ち寄り計量し、構内の花壇や菜園、緑地帯に埋める施肥作業をしています。2021年度の一年間の生ごみ堆肥の集計総量は1,469kgでした。3/19の作業日に生ごみ堆肥で育てた亀戸大根を収穫し、会員に分けました。(小林)

